

令和 7 年度の事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 凸凹革命

1 事業の成果と今後の予定

・京田辺市「ひきこもり支援事業」「就労準備支援事業」京都府「ひきこもり状態にある者のための社会参加事業」は継続受託。「きょうとこどもの城づくり事業」については、居場所事業の「150日以上」の受託はできなかったものの、「休日等通年型(年間 50 日以上)」にステップアップした。

それにより、「京田辺リメディアル教育学院」として、「ひきこもり社会参加事業」の部分を「就労課程」＝就労支援。「こどもの城づくり事業」の部分を「学習課程」＝フリースクールとして、就労まで接続する「オルタナティブスクール」を体現する体制となった。

・「京田辺シェルター」は、結果的に入居者いなくなったため 2025 年 7 月に廃止した。

それにより、令和 8 年度以降の「生活困窮世帯及びひきこもり支援事業」としては、「京田辺リメディアル教育学院就労課程」をこの事業として、京田辺市「ひきこもりサポート業務委託」「生活困窮者及び被保護者就労準備支援事業」の受託に関わる事業を行う。

さらに「就労支援としての居場所事業」については、ふくまさ商店とのコラボを中心とした軽作業請負による就労体験施設「ワークプレイス京田辺」としての事業を行うものとする。

・9 月と 3 月に「凸凹教育研究会」を開催。いつものメンバー的な参加者とさらに濃厚な交流や連携に繋がっている。

リモートでの TRPG 会とリアル会場でのホドゲム会はそれぞれ月 1 回以上を目安として継続実施。不登校、ひきこもりなどの状況でも同じ趣味をもった仲間との出会いを助けられる場となるように「遊びの人材バンク」と「マッチング」の両方の役割を担えるように活動を再構築していく。

・また、令和 8 年度は京都地域創造基金の FUN ファンドに採択された、人々を笑わせ考えさせた創作に与える賞「笑み～賞」を実施する。サポートの「クリエイター's ルーム」と融合し創作支援講座を行うことで、既存の関わる対象者以外の多様な人々との関りの場をつくる。

2 事業の実施に関する事項

令和7年度実施実績

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (概算) (単位：千円)
① 就労支援及びフリースクールとしての居場所事業 【京田辺リメディアル教育学院】	【就労課程】 京都府「ひきこもり社会参加支援事業補助金」を受託。 京田辺市「就労準備事業」等も利用する	A) 月水金 10～15時 B) 教育総合センター2階 C) 2名	(D) ひきこもり状態にある者 (E) 当事者実人数9名	3334
	【学習課程】 京都府「きょうとこどもの城づくり事業(休日等通年型)」を受託	A) 平日 12～16時 B) 教育総合センター2階 C) 1名	(D) ひとり親家庭とは限らず必要とする者 (E) 27名	1945
② 生活困窮世帯及びひきこもり支援事業	「京田辺シェルター」現在利用者2名。週1回清掃補助が。【7月に廃止】	AB) 京田辺シェルター C) 清掃スタッフ1名(リメ利用者)	D) 生活上の要支援者 E) 利用者2名	121
③ 教育と医療・福祉の連携接続事業	教育指導者を対象にしたセミナー「凸凹教育研究会」を開催	A) ① 2025/9/27 ② 2026/3/14 B) サポーツ京田辺 C) 2名	(D) 教育指導者 (E) ① 13名 ② 14名	10
④ カウンセリング事業	WISC等の検査を実施する	実施なし	(D) 心理的支援が必要な者 (E)	0
⑤ 人材再生事業	他の企業や団体等において、その構成員等に支援及びコンサルティングを行う	実施せず	(D) 該当団体に所属する者 (E)	0
⑥ コミュニケーション力育成事業	(オンライン) TRPG会(リアル会場)ホドゲーム会によるゲームを通じたコミュニケーション	A) 毎月平均2回 B) サポーツ京田辺およびリモート C) 1名	(D) ひきこもり状態にある者+それに理解のある参加者 (E) のべ40名	0
⑦ その他この法人の目的を達成するために必要な事業		実施せず		0

令和8年度の具体的な事業内容の変更

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容
⑧ 就労支援及びフリースクールとしての居場所事業	<p>【ワークプレイス京田辺】 軽作業請負によって、就労活動を経験する施設</p> <p>【京田辺リメディアル教育学院 学習課程】 京都府「きょうとこどもの城づくり事業(休日等通年型)」を受託</p>
⑨ 生活困窮世帯及びひきこもり支援事業	<p>【京田辺リメディアル教育学院 就労課程】 京都府「ひきこもり社会参加支援事業補助金」を受託。京田辺市「就労準備事業」等も利用する</p>
⑩ 教育と医療・福祉の連携接続事業	<p>教育指導者を対象にしたセミナー「凸凹教育研究会」を開催</p>
⑪ カウンセリング事業	<p>WISC等検査を実施する</p>
⑫ 人材再生事業	<p>他の企業や団体等において、その構成員等に支援及びコンサルティングを行う</p>
⑬ コミュニケーション力育成事業	<p>(オンライン) TRPG会(リアル会場)ボードゲーム会によるゲームを通じたコミュニケーション</p> <p>笑み〜賞(クリエイター'sルームと融合し創作支援講座)</p>
⑭ その他この法人の目的を達成するために必要な事業	

